

令和元年度「長久手市役所の仕事」通知表の作成（外部評価）⑤

令和元年 8 月 1 日 開催概要

開催概要	
会議等の名称	令和元年度行政評価・外部評価⑤ 「人事事務事業」【人事課】
開催日時	令和元年 8 月 1 日（木） 午前 9 時 3 5 分から午前 1 0 時 3 5 分まで
開催場所	市役所西庁舎 2 階 第 7 ・ 8 会議室
出席者氏名 （敬称略）	<外部評価実施者> ・行政改革推進委員 石橋健一、江頭隆行、山口秋男 ・外部評価委員 永吉 輝、村上 結 <担当課> 市長公室長 加藤正純、人事課長 北川考志、同課課長補佐 浅井 紳一郎 <事務局> 総務部次長兼行政課長 飯島 淳、同課課長補佐 児玉 剛、同課 係長 加藤優作
傍聴者人数	5 人
問合せ先	長久手市総務部行政課 0 5 6 1 - 5 6 - 0 6 0 5
備考	

外部評価実施者の 意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・働き方改革を行う上で、時間外勤務の時間を減らすだけでなく、仕事の仕組みを変えることは重要である。また、組織で横断的に各事業に取り組むことは重要である。 ・成果指標として、横断的な取組の視点を入れることも検討されたい。 ・成果指標について、コスト管理に関するだけでなく、人の配置を含めた管理に関することの指標を検討されたい。 ・成果指標について、「質」として、行政サービスを向上させるという視点として、住民満足度などの指標を検討されたい。 ・定員管理について、市民や職員などの声を反映することも検討されたい。 ・各職場のニーズと時間外勤務の実情を踏まえ引き続き人員配置に取り組まれたい。
-----------------	--

	<ul style="list-style-type: none"> ・大量退職（定年退職）、役職者の育成を考慮した人事計画や対応策について是非検討されたい。 ・「人の育成」について、採用して終わりではなく、「入ったら育成」を念頭に置く必要があり、「人の育成」についても、この事業とは連動しているため、行政評価票に記載されたい。 ・時間外勤務の時間数を削減することについて、仕事量は変わらないため、組織の横断的連携、システムの導入等の手当が必要であり、各課で目標をたて、工夫して取り組まされたい。手当として、投資することも方策である。 ・事業の目的に記載されている「人事評価」と「職員の定数管理」の結びつきがわかりづらい。表現を適切にするとよい。 ・行政評価票の記載について、未記載の項目（活動エピソード）があるため、記載すること。 ・例えば、窓口業務について、仕組みを工夫することで、職員配置の効率化にもつながると思う。 ・病気休暇されている職員へのサポートにも力を入れてほしい。
--	--

<p>講評・まとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・評価基準（成果指標、活動エピソード等）について、「量」（定員数）と「質」（行政サービスの向上）の両方がわかるような評価をされたい。 ・「人の配置」だけでなく、「人の育成」も行っていることを行政評価票に明確に表現すること。
---------------	--